

続きまして、パブリックコメントについてです。

行政手続法に基づき、透明性を確保し、市民の皆様への積極的な市政参加を促進するために設けられた市民意見提出制度、いわゆるパブリックコメントについてお伺いします。

さきの6月市議会において、昨年の2月市議会、12月市議会と重ねて上程された予算案の議決に伴い、土地開発公社に委託し、休日夜間急患センター等複合施設建設予定地として先行取得していた土地に替わって、こども・子育て複合施設を建設するとの計画変更が決定されました。私自身も、市議の1人として、理事者側の説明を受け、近年の子供、子育てを取り巻く環境の厳しさ等を認識し、当該議案に賛成いたしました。

しかし、肝腎の市民の皆様には何の説明もないまま、突然の方針転換となってしまったことは残念でなりません。休日夜間急患センターは、市民の関心が大変高い安全、安心の拠点であり、前の石川市長は、市内全校区で開催された令和4年度まちづくりタウンミーティングにおいて、現在の場所に新たな急患センターを建設し、市の救急医療体制を維持、確保すると明言され、広く周知、徹底がなされておりました。この件については、冒頭の質問でも触れましたが、市長が公約の柱に掲げた、みんなの声を政策にといった姿勢と大きく乖離してしまったのではと、大変危惧しております。

このような危惧、市民の皆様から預かった声を幾つか質問させていただきます。

現在、耐用年数の期限が間近に迫り、急がなければならない新市民文化センター建設に向けての動きが明らかにストップしております。新市民文化センターの建設につきましては、本市の最上位計画であります長期総合計画に基づき、市民の皆様から多様な御意見をお聞きするパブリックコメントを行った上で、令和4年度に市民文化センター基本構想、そして、令和5年度には基本計画が策定され、公開されております。私は、市民が主役、みんなの声を政策にといった観点からは、この計画のスケジュールがストップする際にも、市民の皆様へ、市ホームページ等で何らかの説明があってしかるべきではなかったかと、残念に感じております。

そこでお伺いしますが、現在の新市民文化センターの基本構想、基本計画を大きく変更しようとする際には、その変更決定前の段階でしっかりとパブリックコメントを実施すべきであると考えておりますが、市長の御所見をお伺いします。また、あわせて、先に申し上げましたが、新たな急患センターが現在の場所に建設されるといった計画は、市民に広く周知、徹底されていた事項であり、いまだ多くの方は、その計画変更を知らないのではと心配しております。

市が策定した要綱には、市民の公共の用に供する大規模施設整備計画の変更の際には、パブリックコメントを実施するとうたわれており、不作為ではなかったのかとの疑念も生じます。せめて、今からでも行政の説明責任を果たすため、市政だより、市ホームページ等で、その変更に至る経緯、経過等を周知する必要があるのではないかと考えますが、御所見をお伺いします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。久枝福祉部長。

○福祉部長（久枝庄三）（登壇）
パブリックコメントについてお答えいたします。

休日夜間急患センターの建設計画変更の周知についてでございます。

休日夜間急患センターにつきましては、令和4年度のタウンミーティングにおいて当時の市長から、現在の場所の東側に新たな施設を建設する計画であると説明いたしておりました。しかしながら、物価高騰により建設費が増大したことと、土地建物の賃貸借契約終了により、返還する予定であった土地が購入できることになったことから、計画を見直し、市役所周辺施設の整備と併せ、こども家庭センター等との複合施設を検討してまいりました。最終的には、こども・子育て複合施設を建設することを決定し、休日夜間急患センターにつきましては、感染症対策について、新居浜市医師会から強い懸念の御意見がありましたことから、別施設とすることにいたしましたものでございます。

新たな移転先等につきましては、新居浜市医師会と相談しながら改めて検討してまいりますが、御心配されている市民もいらっしゃると思いますので、これまでの経緯経過等につきまして、ホームページに掲載し、周知を図ってまいります。

○議長（田窪秀道） 守谷企画部文化スポーツ局長。

○企画部文化スポーツ局長（守谷典隆）（登壇） 新市民文化センターについて、お答えいたします。

現在の市民文化センターの基本構想及び基本計画を大きく変更する必要がある場合には、前回同様、その変更内容につきまして、市民検討委員会による協議やパブリックコメントを実施しなければならないと考えております。

○議長（田窪秀道） 藤田誠一議員。

○15番（藤田誠一）（登壇） 要望です。文化センターの計画変更案がまとまった場合、パブリックコメントの実施は最低限の義務だと思います。しかし、それ以上に市民の関心が高く、さらに厳しい財政状況下において、極めて多額の費用を要することから、変更案がまとまる前の段階においても、積極的に市民の意見を聞き、情報提供していかなければ、市民の信頼は得られないと思いますので、よろしくお願いします。

今後の市政運営に当たっては、市民の立場に立って、十分に時間的余裕を持って、行政の説明責任をしっかりと果たしていくよう要望し、最後の質問に移ります。